

地震、豪雨、火災、津波など、自然災害が発生してからでは手遅に・・・
自然災害が発生する前に自社の事業継続を見直しませんか？

グループ型BCP(事業継続計画)策定支援のご案内



そもそもBCP(事業継続計画)って何？

→企業が自然災害、大火災、テロ攻撃などの**緊急事態に遭遇した場合において**、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続あるいは**早期復旧を可能とするために**、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく**計画**のことです。



緊急事態なんて起きないからBCPは後回しでいいや・・・

なんだかむつかしそう・・・

お金かけてまで策定したくない・・・

解決

県が委託した業者と共に作成しますので、策定したことがない方も安心して自社のBCPを策定することができます！！

BCPは災害発生前に策定することが重要です！策定することで災害発生後の早期復旧実現が近づき、企業の信頼性が高まります！！

基本的な費用(講師代等)は県負担ですので、コンサルティング費用はかかりません！！
 ※策定にかかるコピー代等は負担いただきます。

グループ型BCPとは？

→複数の企業が集まり、相互協力体制をお互いのBCPに記載することで、資源の融通、代替生産や情報共有等、**単独企業では対応出来ないリスクに対応**することが可能となります。

連携事業者から人材や設備を派遣してもらうことで早期生産開始につながり、損失を最小限に抑えることができた。

相互連携を行うBCPを策定することで、代替生産などに対応出来る体制を構築できた。

企業間の連携のあり方は、主に三つの類型が存在します。

組合等を通じた
水平的な連携

サプライチェーンにおける
垂直的な連携

地域における
面的な連携

相互支援することで、事前対策のコスト削減や地域経済の安定化が図れます。

11月30日(水)までのご応募お待ちしております！